

モニタリングチェック表 No③ (1年目：継続保健指導②のモニタリング)

モニタリング実施日：平成 年 月 日 管理番号： 指導保健師番号：			
自治体番号：			
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載内容の確認	保健指導記録票 継続 保健指導② (オ行)	1 受療した場合：保健指導計画は、薬剤治療の有無を踏まえ、継続受療を促すための計画となっていると読み取れるか 未受療の場合：保健指導計画は、初回保健指導と同様のアセスメントを実施していると読み取れるか	可 否
		2 実施者は本人であるか	可 否
		3 実施時間は30分程度であるか（20-40分の範囲、電話の場合は可とする）	可 否
		4 実施形態が以下のようにになっているか ・受療及び薬物治療継続中ならびに継続受療不要の場合、少なくとも電話又は文書 ・受療し薬物治療開始した場合、少なくとも電話 ・非継続受療者の場合、訪問又は個別 ・未受療の場合、訪問又は個別	可 否
		5 「リスク低下の阻害要因」について確認していると読み取れるか。 受療及び継続受療不要の場合：受療継続の利益や受療後の身体状況変化など 未受療の場合：受療に対する考え方、受療の障害や負担、その後の身体状況の変化など 受療中断の場合：受療の中断理由や、受療しない事による不利益など	可 否
		6 「受療と併せて、必要な生活習慣の改善」欄に、具体的な指導内容を記載しているか	可 否
		7 「提案した行動のきっかけ」欄に、対象者が受療以外に始めたことの具体的な内容（ありの場合）、阻害要因について相談・提案したこと等を記載しているか、又は困難もしくはは不要にチェックがあるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
	保健指導記録票 継続 保健指導② (ウラ)	8 受療していた場合：受療結果にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか 受療中断の場合：理由にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか 未受療の場合：理由にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
		9 未受療の場合、今後の受療について記載があるか（受療済みの場合は可とする）	可 否
		10 受療の重要性、受療行動の可能性の両方とも記載をしているか	可 否
	全体評価	全体	11 ※リスク要因をアセスメントした上で、個別的保健指導が実施されたと把握できたか

※結果の記載方法：A；実施された B；まあ実施された C；やや実施不足 D；実施不足 E；家族のみ実施 F；未実施

モニタリングチェック表 No④ (____年目：初回保健指導のモニタリング)

モニタリング実施日：平成 ____年 ____月 ____日 管理番号： _____ 指導保健師番号： _____
 自治体番号： _____

手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載項目のチェック	管理台帳	1 初回保健指導予定日は健診受診日から3か月以内になっているか	有 無
		2 初回保健指導日は健診受診日から3か月以内になっているか	有 無
		3 保健指導の実施形態（訪問・個別）に記載があるか	有 無
	保健指導記録票（オ7）	4 健診結果欄に介入年が記載してあるか	有 無
		5 健診結果欄に対象者種別（未受療重症など）のチェックがあるか	有 無
		6 レセプトチェックの欄に記載があるか	有 無
		7 経年表への過去データ記載欄にチェックがあるか	有 無
		8 使用予定の資料番号欄に記載があるか	有 無
		9 準備に要した時間を記載しているか	有 無
	保健指導記録票（カ7）	10 実施者のチェックがあるか	有 無
		11 実施日の記載があるか	有 無
		12 実施時間の記載があるか	有 無
		13 実施形態のチェックがあるか	有 無
		14 指導場所のチェックがあるか	有 無
		15 「現在の状況」の家族構成に記載があるか	有 無
		16 使用した資料番号欄に記載があるか	有 無
		17 リスク低下の阻害要因がチェックしてあるか	有 無
		18 健診後自己判断で受療開始がチェックされているか	有 無
		19 受療先医療機関名記載されているか	有 無
		20 当該医療機関の選定理由が記載されているか	有 無
		21 受療行動の重要性を記載しているか	有 無
	22 受療行動の可能性を記載しているか	有 無	
	指導後	23 保健指導記録票（様式4）の今後の指導計画欄に記載しているか	有 無
困難事例のチェック	保健指導記録票（カ7）	a 「実施者」欄の『本人、家族とも会えず』に☑がある	有 無
		b 「リスク低下の阻害要因」 ※以下該当するものに☑ <input type="checkbox"/> 受療する必要がないと思っている <input type="checkbox"/> 忙しい <input type="checkbox"/> 家庭の理由 <input type="checkbox"/> 経済的な問題 <input type="checkbox"/> 医療機関不信 <input type="checkbox"/> 医療機関へのアクセス <input type="checkbox"/> 怖い <input type="checkbox"/> 先に生活習慣改善をしてみたい <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 記載なし	
		c 「提案した行動のきっかけ」欄の『困難』に☑がある	有 無
		d 受療の重要性（0～10段階） ※数値を記載	
		e 受療行動の可能性（0～10段階） ※数値を記載	

モニタリングチェック表 No④ (____年目：初回保健指導のモニタリング)

モニタリング実施日：平成 ____年 ____月 ____日 管理番号： _____ 指導保健師番号： _____			
自治体番号： _____			
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載内容 の チェック	保健指導 記録票 (47)	1 実施者は原則本人であるか	可 否
		2 実施時間は30分程度であるか（20-40分の範囲は可）	可 否
		3 実施形態は下記の通りであるか ①未受療：訪問または個別 ②受療中：文書以外（会えない場合のみ電話可） ③非重症化：文書以外	可 否
	保健指導 記録票 (47行)	4 予防ターゲットとなるリスクの確定がされていると読み取れるか <input type="checkbox"/> 現在の身体状況と進行段階（高血圧、高血糖、脂質異常、動脈硬化の段階） <input type="checkbox"/> 予想される健康障害	可 否
		5 リスク低下の阻害要因（受療の阻害要因となりそうな体験・考え方・生活状況等）の推定がされていると読み取れるか	可 否
		6 受療と併せて、必要な生活習慣の改善が推定されていると読み取れるか	可 否
		7 対象者情報（介入手順書p46）を可能な範囲で収集していると読み取れるか <input type="checkbox"/> 家族歴 <input type="checkbox"/> 内臓脂肪蓄積の有無 <input type="checkbox"/> リスク集積状況 <input type="checkbox"/> 既往歴 <input type="checkbox"/> 現病歴 <input type="checkbox"/> 仕事内容や生活リズム <input type="checkbox"/> 食習慣 <input type="checkbox"/> 運動習慣 <input type="checkbox"/> 家族構成 <input type="checkbox"/> 経済状況 <input type="checkbox"/> 時間的制約 <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関 <input type="checkbox"/> かかりつけ医	可 否
		8 「本人の気づき」欄において、罹患性・虚弱性・重大性等の気づきについての本人の発言等を把握していると読み取れるか	可 否
		9 「リスク低下の阻害要因」にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
		10 「受療と併せて、必要な生活習慣の改善」欄に、指導内容を記載しているか	可 否
	11 「提案した行動のきっかけ」欄に、阻害要因について相談・提案したこと等を記載しているか、又は不要もしくは困難にチェックがあるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否	
全体評価	全体	12 ※リスク要因をアセスメントした上で、個別的保健指導が実施されたと把握できたか	

※結果の記載方法：A；実施された B；まあ実施された C；やや実施不足 D；実施不足
E；家族のみ実施 F；未実施

モニタリングチェック表 No⑤ (___年目 : 【未】継続保健指導①のモニタリング)

モニタリング実施日 : 平成 ___年 ___月 ___日 管理番号 : _____ 指導保健師番号 : _____			
自治体番号 : _____			
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載項目のチェック	管理台帳	1 健診受診後4~5か月以内にレセプトにより受療状況を確認しているか	有 無
		2 医療機関受療の有無を記載しているか	有 無
		3 継続保健指導①の予定日は、レセプト確認日後且つ、健診受診後4~5か月以内になっているか	有 無
		4 継続保健指導①の指導日は、レセプト確認日後且つ、健診受診後4~5か月以内になっているか	有 無
	保健指導記録票継続保健指導①(オモテ)	5 健診結果欄に介入年が記載してあるか	有 無
		6 健診結果欄に対象者種別(未受療重症など)のチェックがあるか	有 無
		7 レセプトチェックの欄に記載があるか	有 無
		8 保健指導計画が記載されているか	有 無
		9 指導保健師番号が記載されているか	有 無
		10 準備に要した時間を記載しているか	有 無
		11 保健指導の実施者を記載しているか	有 無
		12 実施時間を記載しているか	有 無
		13 実施形態のチェックがされているか	有 無
		14 指導場所のチェックがされているか	有 無
		15 家族構成のチェックがされているか	有 無
		16 使用した資料番号の記載があるか(経年表、構造図以外)	有 無
		17 受療と併せて、必要な生活習慣の改善についてをチェックしているか	有 無
		18 受療以外に前回の保健指導以降始めたことをチェックしているか	有 無
	保健指導記録票継続保健指導①(ウラ)	19 ・受療していた場合、受療結果がチェックされているか ・未受療の場合、その理由についてのチェックと、今後の受療についての記載があるか	有 無
		20 (受療の有無にかかわらず)受療の重要性について記載しているか	有 無
		21 (受療の有無にかかわらず)受療行動の可能性について記載しているか	有 無
	継続保健指導①後の記録	22 保健指導記録票(様式5-1)の今後の指導計画欄に記載しているか	有 無
困難事例のチェック	保健指導記録票継続保健指導①(オモテ)	a 「実施者」欄の『本人、家族とも会えず』に☑がある	有 無
		b 「提案した行動のきっかけ」欄の『困難』に☑がある	有 無
	継続保健指導①(ウラ)	未受療の理由 ※以下該当するものに☑ c <input type="checkbox"/> 受療する必要がないと思っている <input type="checkbox"/> 忙しい <input type="checkbox"/> 家庭の理由 <input type="checkbox"/> 経済的な問題 <input type="checkbox"/> 医療機関不信 <input type="checkbox"/> 医療機関へのアクセス <input type="checkbox"/> 怖い <input type="checkbox"/> 先に生活習慣改善をしてみたい <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 記載なし	
		d 受療の重要性(0~10段階) ※数値を記載	
		e 受療行動の可能性(0~10段階) ※数値を記載	

モニタリングチェック表 No⑤ (年目:【未】継続保健指導①のモニタリング)

モニタリング実施日:平成 年 月 日 管理番号: 指導保健師番号:			
自治体番号:			
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載内容の確認	保健指導記録票 継続保健指導① (オモ)	1 受療した場合:保健指導計画は、薬剤治療の有無を踏まえ、継続受療を促すための計画となっていると読み取れるか 未受療の場合:保健指導計画は、初回保健指導と同様のアセスメントを実施していると読み取れるか	可 否
		2 実施者は本人であるか	可 否
		3 実施時間は30分程度であるか(20-40分の範囲、電話の場合は可)	可 否
		4 実施形態が以下のようにになっているか ・受療したが薬物治療なしの場合、少なくとも個別(医師の指示で継続受療不要、尿検査再検で異常なし、白衣高血圧などの場合は電話でも可)となっているか ・受療し薬物治療中の場合、少なくとも電話となっているか ・未受療の場合、訪問又は個別になっているか	可 否
		5 「リスク低下の阻害要因」について確認していると読み取れるか 受療している場合:受療継続の利益や受療後の身体状況変化など 未受療の場合:受療に対する考え方、受療の障害や負担など	可 否
		6 「受療と併せて、必要な生活習慣の改善」欄に、具体的な指導内容を記載しているか	可 否
		7 「提案した行動のきっかけ」欄に、対象者が受療以外に始めたことの具体的な内容(ありの場合)、阻害要因について相談・提案したこと等を記載しているか、又は不要もしくは困難にチェックがあるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
	保健指導記録票 継続保健指導① (ウ)	8 受療していた場合:受療結果にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか 未受療の場合:理由にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
		9 未受療の場合、今後の受療について記載があるか(受療済みの場合は可とする)	可 否
		10 受療の重要性、受療行動の可能性の両方とも記載をしているか	可 否
	全体評価	全体	11 ※リスク要因をアセスメントした上で、個別的保健指導が実施されたと把握できたか

※結果の記載方法:A;実施された B;まあ実施された C;やや実施不足 D;実施不足
E;家族のみ実施 F;未実施

モニタリングチェック表 No⑥ (年目：【未】継続保健指導②のモニタリング)

モニタリング実施日：平成 年 月 日 管理番号： 指導保健師番号：
自治体番号：

手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果	
記載項目の確認	管理台帳	1 継続保健指導①後、且つ健診受診後7~8か月以内にレセプトにより受療状況を確認しているか	有 無	
		2 医療機関受療の有無を記載しているか	有 無	
		3 継続保健指導②の予定日は、レセプト確認日後且つ、健診受診後7~8か月以内になっているか	有 無	
		4 継続保健指導②の指導日は、レセプト確認日後且つ、健診受診後7~8か月以内になっているか	有 無	
		5 実施形態を記載しているか	有 無	
	保健指導記録票継続保健指導②(㍻)	6 健診結果欄に介入年が記載してあるか	有 無	
		7 健診結果欄に対象者種別(未受療重症など)のチェックがあるか	有 無	
		8 レセプトチェックの欄に記載があるか(裏面にて継続受療の必要なしにチェックがある場合は有とする)	有 無	
		9 保健指導計画が記載されているか	有 無	
		10 指導保健師番号が記載されているか	有 無	
		11 準備に要した時間を記載しているか	有 無	
		12 保健指導の実施者を記載しているか	有 無	
		13 実施時間を記載しているか	有 無	
		14 実施形態のチェックがされているか	有 無	
		15 指導場所のチェックがされているか	有 無	
		16 家族構成のチェックがされているか	有 無	
		17 使用した資料番号の記載があるか(経年表、構造図以外)	有 無	
		18 受療と併せて、必要な生活習慣の改善についてをチェックしているか	有 無	
		19 受療以外に前回の保健指導以降始めたことをチェックしているか	有 無	
保健指導記録票継続保健指導②(㍻)	20	・受療していた場合、受療結果がチェックされているか ・受療中断の場合、その理由がチェックされているか ・未受療の場合、その理由についてのチェックと、今後の受療についての記載があるか	有 無	
	21 (受療の有無にかかわらず)受療の重要性について記載しているか	有 無		
	22 (受療の有無にかかわらず)受療行動の可能性について記載しているか	有 無		
継続②後の記録	23 保健指導記録票(様式5-2)に健診受診勧奨予定を記載しているか	有 無		
困難事例のチェック	保健指導記録票継続保健指導②(㍻)	a 「実施者」欄の『本人、家族とも会えず』に☑がある	有 無	
		b 「提案した行動のきっかけ」欄の『困難』に☑がある	有 無	
	継続保健指導②(㍻)	c	☐受療中断の理由 ☐未受療の理由 ※上記いずれかに☑、及び以下の該当するものに☑ ☐受療する必要があると思っていない ☐忙しい ☐家庭の理由 ☐経済的な問題 ☐医療機関不信 ☐医療機関へのアクセス ☐怖い ☐先に生活習慣改善をしてみたい ☐その他 ☐記載なし	
		d 受療の重要性(0~10段階) ※数値を記載		
		e 受療行動の可能性(0~10段階) ※数値を記載		

モニタリングチェック表 No⑥ (年目:【未】:継続保健指導②のモニタリング)

モニタリング実施日:平成 年 月 日 管理番号: 指導保健師番号:			
自治体番号:			
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載内容の確認	保健指導記録票継続保健指導②(杉)	1 受療した場合:保健指導計画は、薬剤治療の有無を踏まえ、継続受療を促すための計画となっていると読み取れるか 未受療の場合:保健指導計画は、初回保健指導と同様のアセスメントを実施していると読み取れるか	可 否
		2 実施者は本人であるか	可 否
		3 実施時間は30分程度であるか(20-40分の範囲、電話の場合は可とする)	可 否
		4 実施形態が以下のようにになっているか ・受療及び薬物治療継続中ならびに継続受療不要の場合、少なくとも電話又は文書 ・受療し薬物治療開始した場合、少なくとも電話 ・非継続受療者の場合、訪問又は個別 ・未受療の場合、訪問又は個別	可 否
		5 「リスク低下の阻害要因」について確認していると読み取れるか。 受療及び継続受療不要の場合:受療継続の利益や受療後の身体状況変化など 未受療の場合:受療に対する考え方、受療の障害や負担、その後の身体状況の変化など 受療中断の場合:受療の中断理由や、受療しない事による不利益など	可 否
		6 「受療と併せて、必要な生活習慣の改善」欄に、具体的な指導内容を記載しているか	可 否
		7 「提案した行動のきっかけ」欄に、対象者が受療以外に始めたことの具体的な内容(ありの場合)、阻害要因について相談・提案したこと等を記載しているか、又は困難もしくはは不要にチェックがあるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
	保健指導記録票継続保健指導②(ウ)	8 受療していた場合:受療結果にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか 受療中断の場合:理由にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか 未受療の場合:理由にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
		9 未受療の場合、今後の受療について記載があるか(受療済みの場合は可とする)	可 否
		10 受療の重要性、受療行動の可能性の両方とも記載をしているか	可 否
	全体評価	全体	11 ※リスク要因をアセスメントした上で、個別的保健指導が実施されたと把握できたか

※結果の記載方法:A;実施された B;まあ実施された C;やや実施不足 D;実施不足 E;家族のみ実施 F;未実施

モニタリングチェック表 No⑦ (____年日 : 【受・非】 継続保健指導①のモニタリング)

モニタリング実施日:平成 ____年 ____月 ____日 管理番号: _____ 指導保健師番号: _____				
自治体番号: _____				
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果	
記載項目のチェック	管理台帳	1 健診受診後4~5か月以内にレセプトにより受療状況を確認しているか	有 無	
		2 医療機関受療の有無を記載しているか	有 無	
		3 継続保健指導①の予定日は、レセプト確認日後且つ、健診受診後4~5か月以内になっているか	有 無	
		4 継続保健指導①の指導日は、レセプト確認日後且つ、健診受診後4~5か月以内になっているか	有 無	
	保健指導記録票継続保健指導①(オ行)	5 健診結果欄に介入年が記載してあるか	有 無	
		6 健診結果欄に対象者種別(未受療重症など)のチェックがあるか	有 無	
		7 レセプトチェックの欄に記載があるか	有 無	
		8 保健指導計画が記載されているか	有 無	
		9 指導保健師番号が記載されているか	有 無	
		10 準備に要した時間を記載しているか	有 無	
		11 保健指導の実施者を記載しているか	有 無	
		12 実施時間を記載しているか	有 無	
		13 実施形態のチェックがされているか	有 無	
		14 指導場所のチェックがされているか	有 無	
		15 家族構成のチェックがされているか	有 無	
		16 使用した資料番号の記載があるか(経年表、構造図以外)	有 無	
		17 受療と併せて、必要な生活習慣の改善についてをチェックしているか	有 無	
		18 受療以外に前回の保健指導以降始めたことをチェックしているか	有 無	
保健指導記録票継続保健指導①(ウ行)	19	・受療していた場合、受療結果がチェックされているか ・未受療の場合、その理由についてのチェックと、今後の受療についての記載があるか	有 無	
	20	(受療の有無にかかわらず)受療の重要性について記載しているか	有 無	
	21	(受療の有無にかかわらず)受療行動の可能性について記載しているか	有 無	
継続保健指導①後の記録	22	保健指導記録票(様式5-3)の健診受診勧奨予定欄に記載しているか	有 無	
困難事例のチェック	保健指導記録票継続保健指導①(オ行)	a 「実施者」欄の『本人、家族とも会えず』に☑がある	有 無	
		b 「提案した行動のきっかけ」欄の『困難』に☑がある	有 無	
	継続保健指導①(ウ行)	c	未受療の理由 ※以下該当するものに☑ <input type="checkbox"/> 受療する必要がないと思っている <input type="checkbox"/> 忙しい <input type="checkbox"/> 家庭の理由 <input type="checkbox"/> 経済的な問題 <input type="checkbox"/> 医療機関不信 <input type="checkbox"/> 医療機関へのアクセス <input type="checkbox"/> 怖い <input type="checkbox"/> 先に生活習慣改善をしてみたい <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 記載なし	
		d	受療の重要性(0~10段階) ※数値を記載	
		e	受療行動の可能性(0~10段階) ※数値を記載	

モニタリングチェック表 No⑦ (年日：【受・非】継続保健指導①のモニタリング)

モニタリング実施日：平成 年 月 日 管理番号： 指導保健師番号：			
自治体番号：			
手順	モニタリング対象	モニタリング項目	結果
記載内容の確認	保健指導記録票 継続保健指導① (オチ)	1 受療した場合：保健指導計画は、薬剤治療の有無を踏まえ、継続受療を促すための計画となっていると読み取れるか 未受療の場合：保健指導計画は、初回保健指導と同様のアセスメントを実施していると読み取れるか	可 否
		2 実施者は本人であるか	可 否
		3 実施時間は30分程度であるか（20-40分の範囲、電話の場合は可）	可 否
		4 実施形態が以下のようにになっているか ・受療したが薬物治療なしの場合、少なくとも個別（医師の指示で継続受療不要、尿検査再検で異常なし、白衣高血圧などの場合は電話でも可）となっているか ・受療し薬物治療中の場合、少なくとも電話となっているか ・未受療の場合、訪問又は個別になっているか	可 否
		5 「リスク低下の阻害要因」について確認していると読み取れるか 受療している場合：受療継続の利益や受療後の身体状況変化など 未受療の場合：受療に対する考え方、受療の障害や負担など	可 否
		6 「受療と併せて、必要な生活習慣の改善」欄に、具体的な指導内容を記載しているか	可 否
		7 「提案した行動のきっかけ」欄に、対象者が受療以外に始めたことの具体的な内容（ありの場合）、阻害要因について相談・提案したこと等を記載しているか、又は不要もしくは困難にチェックがあるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
	保健指導記録票 継続保健指導① (ウラ)	8 受療していた場合：受療結果にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか 未受療の場合：理由にチェックがあるか、又は空欄に記載があるか、又は他の記述から読み取れるか	可 否
		9 未受療の場合、今後の受療について記載があるか（受療済みの場合は可とする）	可 否
		10 受療の重要性、受療行動の可能性の両方とも記載をしているか	可 否
	全体評価	全体	11 ※リスク要因をアセスメントした上で、個別的保健指導が実施されたと把握できたか

※結果の記載方法：A；実施された B；まあ実施された C；やや実施不足 D；実施不足
E；家族のみ実施 F；未実施

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
（生活習慣病重症化予防のための戦略研究））
分担研究年度終了報告書

『自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進モデルによる
保健指導プログラムの効果検証に関する研究』
－生活習慣病アウトカムの判定プロセスの確定－

分担研究者 齊藤 功 愛媛大学大学院医学系研究科 地域健康システム看護学 教授

研究要旨

生活習慣病重症化予防のための受療行動モデルを評価するため、今年度は対象者のレセプトイメージから判定作業に至るプロセスについて整理を行った。生活習慣病アウトカムの判定はこれまでに循環器疾患登録の経験のある医師2名が独立して行うこととし、仮に判定結果が一致する場合にはその判定を採用、また、不一致の場合には再度協議の上で最終的な判定を下す手順を構築した。二人の医師の判定の一致率は判定作業の妥当性を担保できる指標であり、判定作業が円滑に行える仕組みが可能となった。

A. 研究目的

生活習慣病重症化予防のための受療行動モデルを評価するため、生活習慣病アウトカム判定にかかる手順書の作成と課題の整理を行うこと。

B. 研究対象と方法

本研究では、生活習慣病アウトカムとして心筋梗塞（I21-I22）、不安定狭心症（I20, I24.8）、心不全（I50）、脳血管疾患（I60-I69）、腎不全（N17-N19）、慢性腎臓病（N18.0, N18.8, N28.9）を定義した。これらのエンドポイントを判定するために、抽出されたレセプトイメージから判定に至るプロセスを整理した。

C. 研究結果

判定は循環器疾患登録の経験のある医師2名が独立して行うこととし、仮に判定結果が一致する場合にはその判定を採用、また、不一致の場合には再度協議の上で最終的な判定を下すプロセスを構築した。二人の医師の判定の一致率が判定作業の妥当性を担保

できる指標であり、判定作業が円滑に行える仕組みが可能となった。

また、判定の入力と判定の一致・不一致例を抽出できるデータベースを構築した。

D. 考察

本研究はレセプトを用いた疾病の判定であり、その情報には限界があるものの、エンドポイントの判定が医師により偏らない工夫が必要である。

将来的には、レセプトによる判定の妥当性の検討が必須であると考えられた。

E. 結論

エンドポイント判定のプロセスを明確化し、より正確な手順の開発が求められる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
出願予定

2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
（生活習慣病重症化予防のための戦略研究））
分担研究年度終了報告書

『自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進モデルによる
保健指導プログラムの効果検証に関する研究』
－主要・副次的評価項目のための解析－

研究分担者 新谷 歩
大阪大学大学院医学系研究科 臨床統計疫学寄附講座 寄附講座教授

研究要旨

自治体をクラスターとしたランダム化比較試験を行い、脳卒中・虚血性心疾患・心不全・腎不全を発症するリスクの高い未受療者に対して、医療機関への受療行動を促進する強力な保健指導を実施することによる各疾患の予防効果を検証する。そのための主要・副次的評価項目の解析プログラムの開発をデモデータを用いて行った。

A. 研究目的

本研究の目的は、自治体をクラスターとしたランダム化比較試験において、主要および副次評価項目に対する介入の効果を正しく検証するための最適な統計手法の決定と、解析の実施である。

B. 研究方法

最終解析および中間解析において研究仮説が十分に検証できる解析プログラムを作成するため、デモデータを用いて事前にデータの構造・入力状況、欠損値の有無、最終解析に必要なデータの収集状況等を確認する。デモデータについては、「取り扱いマニュアル」を作成し、自治体 ID、個人 ID、個人情報、割付群情報をマスキングした状態でパスワード付デジタル電子媒体にて受け取る。合わせて、統計解析計画書の作成を行う。

（倫理面への配慮）

統計解析用データに個人情報は含まれない。

C. 研究結果

「デモデータ取り扱いマニュアル」に従い、JCRAC データセンターよりデモデータを入手した。デモデータからは、多くの疑義事項が

発生したため、その疑義内容を研究代表者および研究協力者と協議のうえ取り扱いを決定した。来年度の 4～6 月に一部自治体への照会を完了し、データ解析に移る計画である。

また、研究期間が変更され、当初予定していた中間解析の時期（平成 28 年 10 月）を目処に最終解析を実施することとなった。追跡期間の短縮に伴い統計学的に問題となる点について議論し、統計解析計画を見直した。

D. 健康危険情報

該当しない

E. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
（生活習慣病重症化予防のための戦略研究））
分担研究年度終了報告書

『自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進モデルによる
保健指導プログラムの効果検証に関する研究』
－副次解析の解析プログラム開発・実施－

研究分担者 今野 弘規 大阪大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学 准教授

研究要旨

介入群において、保健指導に関するどの項目が介入効果に影響したかを検討するため、以下の副次解析を行う。①保健指導実施者の基礎データ、保健指導の形態・内容、保健指導に関する自己評価アンケート結果 ②各自治体の平成 25 年度から平成 27 年度までの特定健診・特定保健指導実施率、特定健診後特定保健指導を実施するまでの期間 ③戦略研究にて行われた介入実施サポート、研修会、保健指導記録票のモニタリング結果の評価、の①～③の項目と主要評価項目・副次評価項目との関連を分析する。平成 27 年度は、以上の分析に関連する帳票類の収集および入力支援、統計解析チームのデモデータ整理およびプログラム開発の支援を行った。

A. 研究目的

介入群において、保健指導に関するどの項目が介入効果に影響したかを検討する。

統計解析チームのデモデータ整理およびプログラム開発の支援を行った。

B. 研究方法

保健指導実施者の基礎データ、保健指導の形態・内容、保健指導に関する自己評価アンケート結果と、主要評価項目・副次評価項目等との関連を分析する。また、各自治体の平成 25 年度から平成 27 年度までの特定健診・特定保健指導実施率、特定健診後特定保健指導を実施するまでの期間との関連を分析する。さらに、戦略研究にて行われた介入実施サポート、研修会、保健指導記録票のモニタリング結果の評価との関連についても分析を行う。

D. 研究発表

なし

E. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

C. 研究結果

平成 27 年度は、上記の解析に必要なデータに関する帳票類の収集および入力支援、

研究協力者

田中 麻理 大阪大学大学院医学系研究科
公衆衛生学・博士課程

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
（生活習慣病重症化予防のための戦略研究）
分担研究年度終了報告書

『自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進モデルによる
保健指導プログラムの効果検証に関する研究』－データ収集・管理の支援－

研究分担者 小橋 元 獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座 教授

研究要旨

平成 27 年度は、自治体からデータセンターに提出される資格データ、健診データおよびレセプトデータから、2 か月あるいは 3 か月処方方を考慮しつつ、レセプトによる受療状況から受療中の者を同定し、当該ハイリスク者のデータを除外するプログラムを作成した。なお、本プログラムにより新たに作成された資格データ、健診データおよびレセプトデータをデータセンターのデータベースに登録することになった。

A. 研究目的

自治体からデータセンターへ送られてくる資格データ、健診データおよびレセプトデータから、2 か月あるいは 3 か月処方方を考慮しつつ、レセプトの傷病コードおよび処置コードによる受療状況から受療中の者を同定し、当該ハイリスク者のデータを除外する。

出願予定

2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

B. 研究方法

フリーソフトである SQLite を用い、Microsoft Windows®上の.NET 環境で動作するソフトウェアを C#言語および SQL 言語で開発した。開発環境は、Microsoft Visual Studio 2013® とした。

F. 研究協力者

西連地 利己 獨協医科大学 医学部
公衆衛生学講座 准教授

C. 研究結果

開発されたソフトウェアの操作方法を別添に示す。操作は Windows 上の他のアプリケーションと同様に、マウスクリックでの操作を主体としている。

D. 研究発表

なし

E. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

別添

開発されたソフトウェアの操作説明

1. インストール方法

(1) アプリケーションパッケージの解凍

「SenryakuSelect1_V2.2.zip」ファイルを適当なフォルダにコピーし、ダブルクリックして解凍します。「DISK1」フォルダが作成されます。

(2) SQLite のインストール

「DISK1」フォルダの中にある「sqlite-netFx451-setup-bundle-x86-2013-1.0.97.0.exe」ファイルをダブルクリックして SQLite をインストールします。

※既にインストール済みの場合は、この作業は不要です。

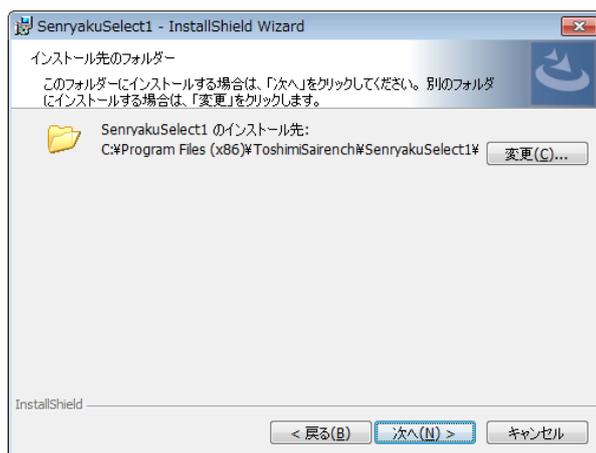
(3) work.db2 ファイルのコピー

C ドライブに「¥J_HARP」というフォルダを作成し、「DISK1」フォルダの中にある「work.db2」ファイルを、その中にコピーします。

(4) SenryakuSelect1 V2.2 のインストール

※古いバージョンがインストールされている場合は、アンインストールを行ってから、この作業を行ってください。

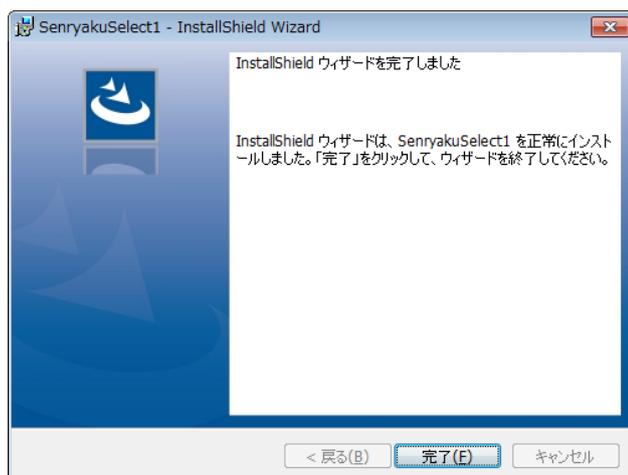
「DISK1」フォルダの中にある「setup.exe」をダブルクリックします。



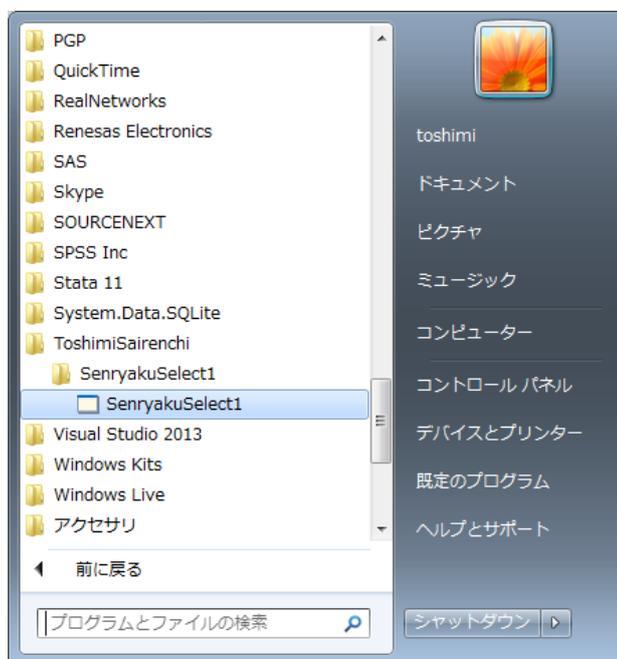
「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



「インストール(I)」 ボタンをクリックします。



「完了(F)」をクリックします。



スタートアップメニュー（および Desktop）に「SenryakuSelect1」が登録されます。

2. 操作方法

(1) SenryakuSelect1 の起動



スタートメニューの「ToshimiSairenchi」フォルダから「SenryakuSelect1」を選択します。

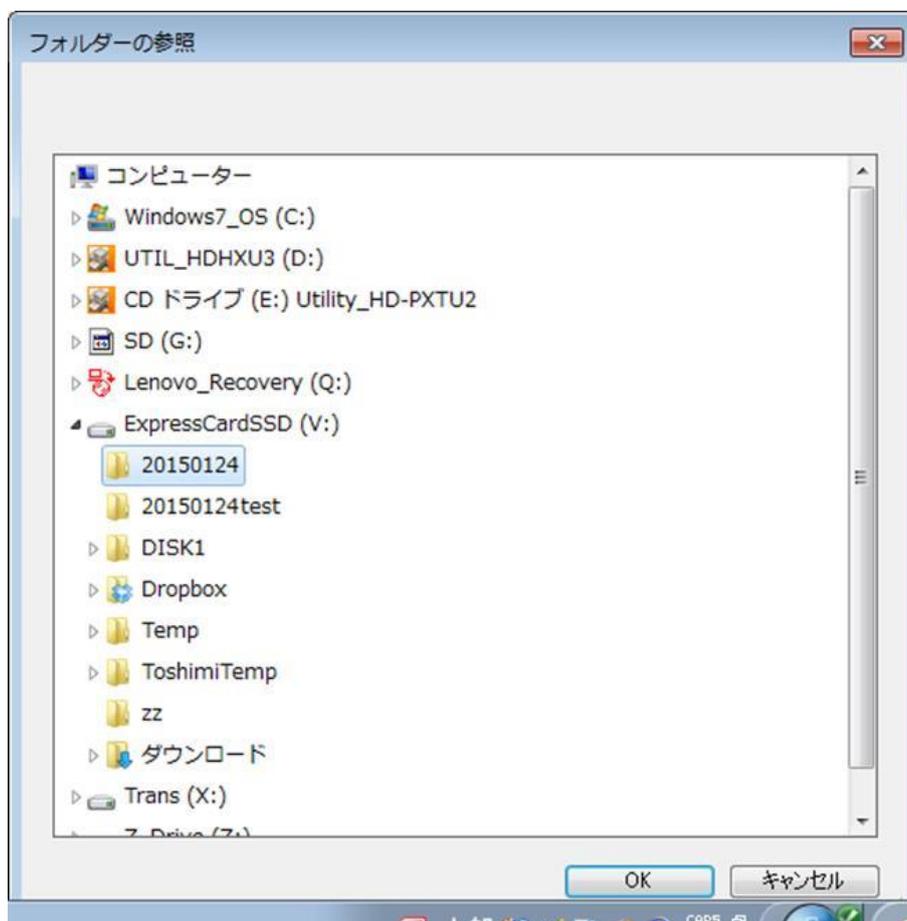


戦略研究用データ抽出画面が表示されます。

(2) 入力データフォルダの選択



「入力データフォルダの選択」ボタンをクリックします。



自治体から提出されたデータが入っているフォルダを選択します。